

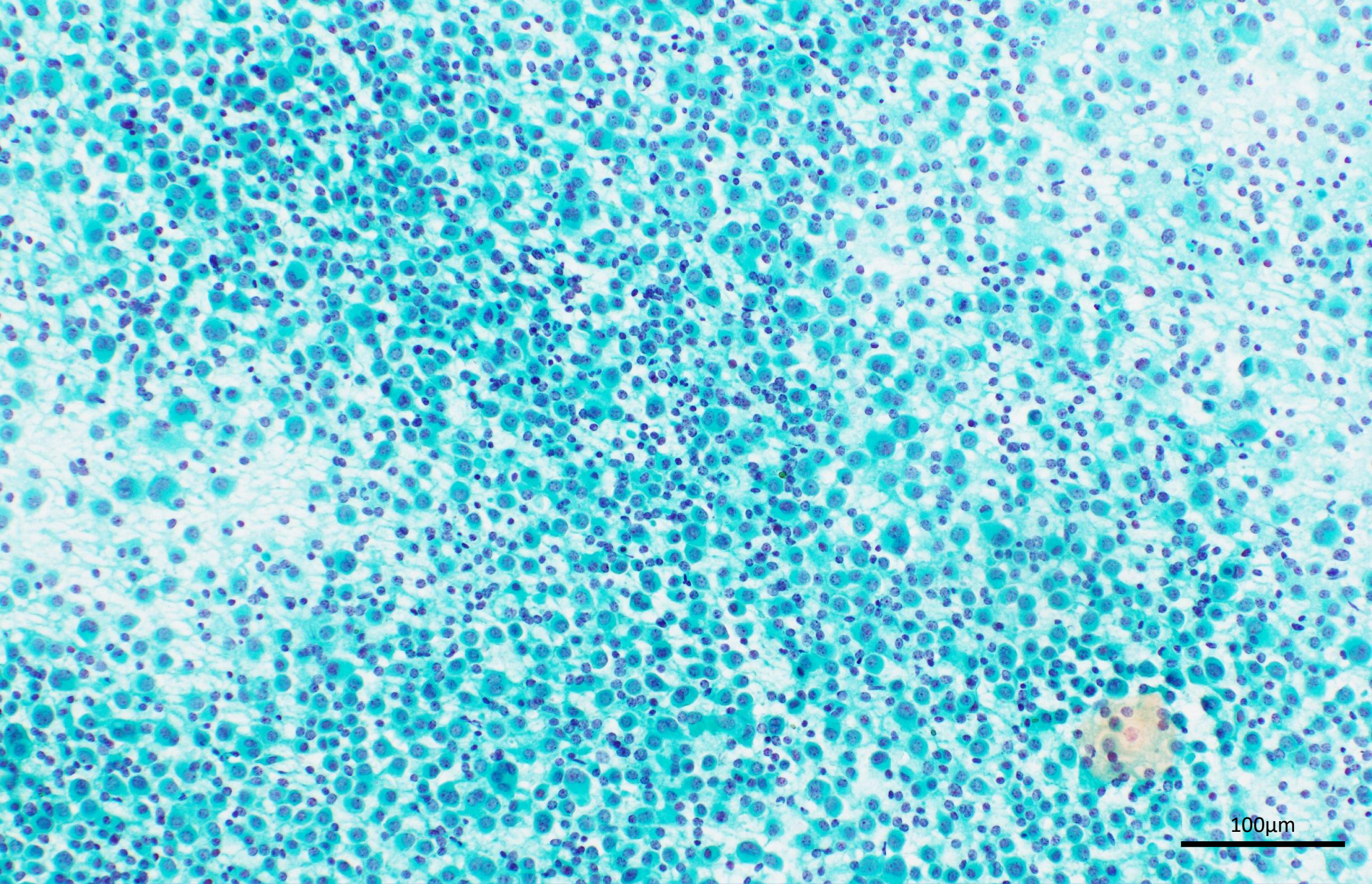
第54回 埼玉県臨床細胞検査士会鏡検セミナー
症例④：喉頭蓋腫瘍捺印

症例④

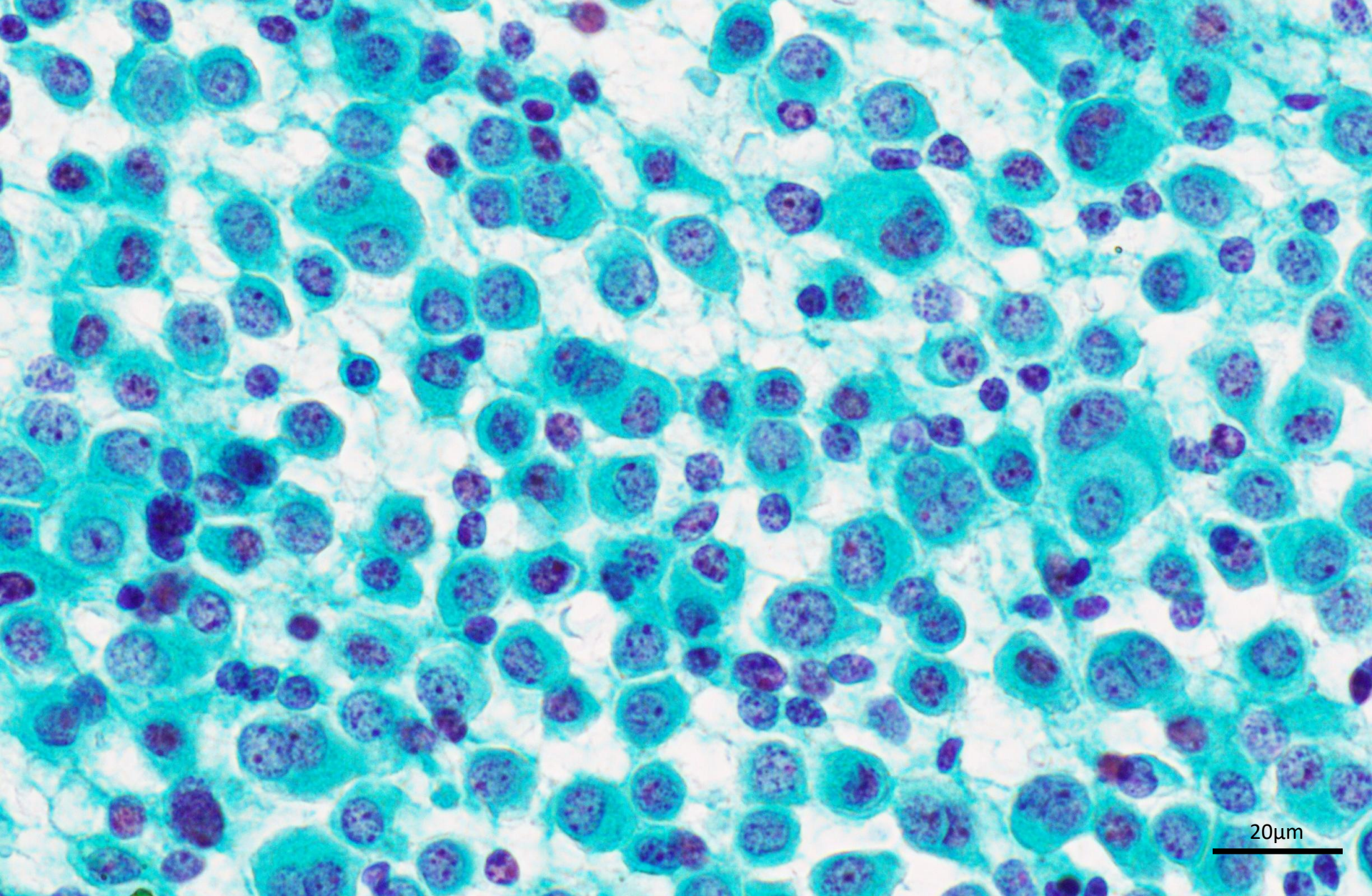
- 70歳代 男性
- 喉頭蓋腫瘍+頸部リンパ節腫脹
- 検体：披裂喉頭蓋ヒダ腫瘍
- 標本作製方法：腫瘍部タッチ

症例④ 喉頭蓋腫瘍捺印 事前解答

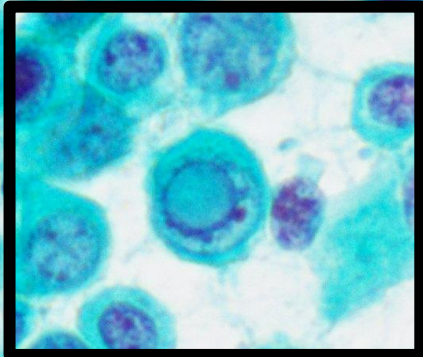
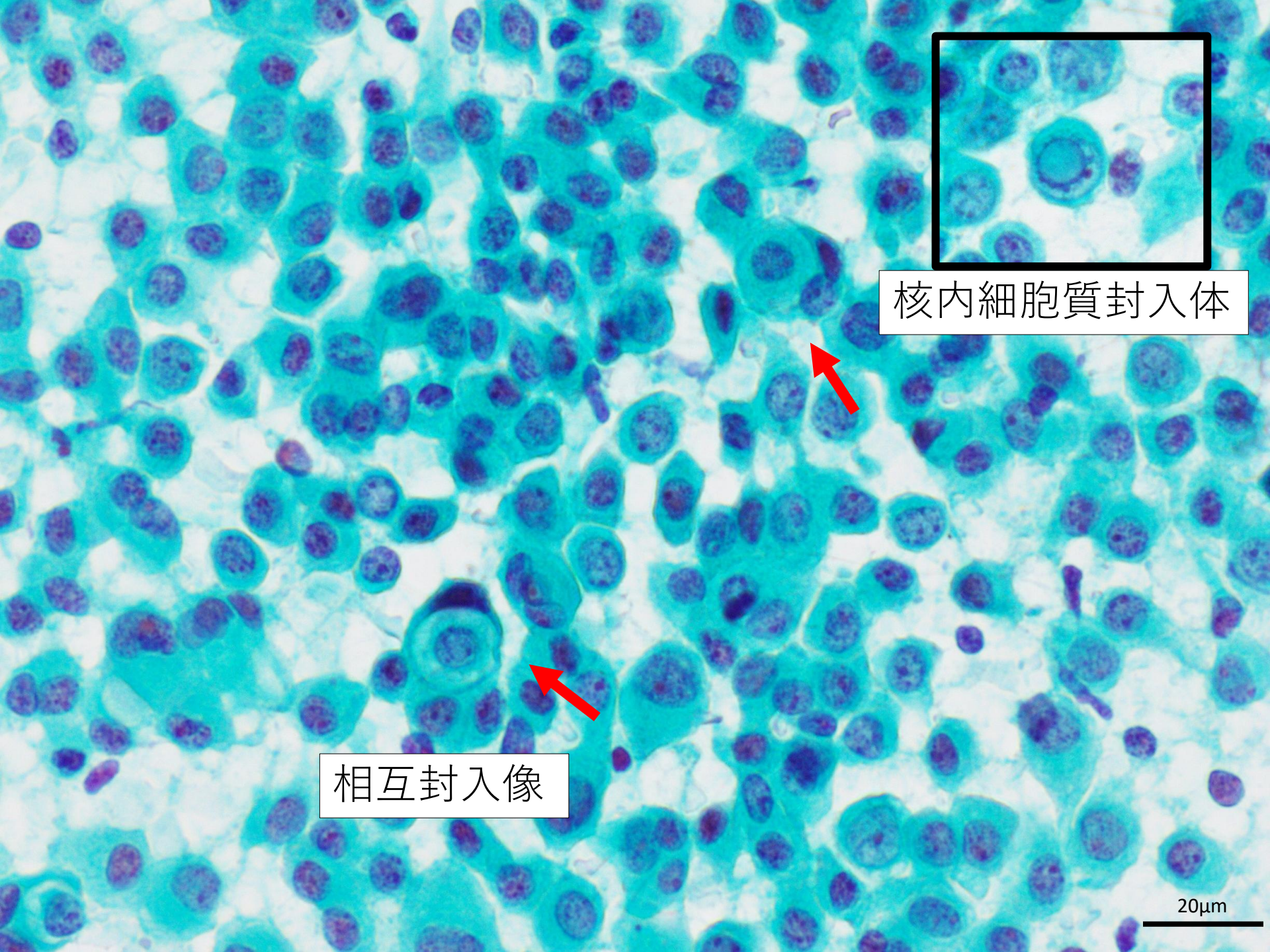
- | | |
|------------|----|
| 1. 腺癌 | 2名 |
| 2. 神経内分泌腫瘍 | 3名 |
| 3. 形質細胞腫 | 4名 |
| 4. 悪性黒色腫 | 8名 |



背景には小型リンパ球
異型細胞が孤在性にみられ緩い結合性を有する



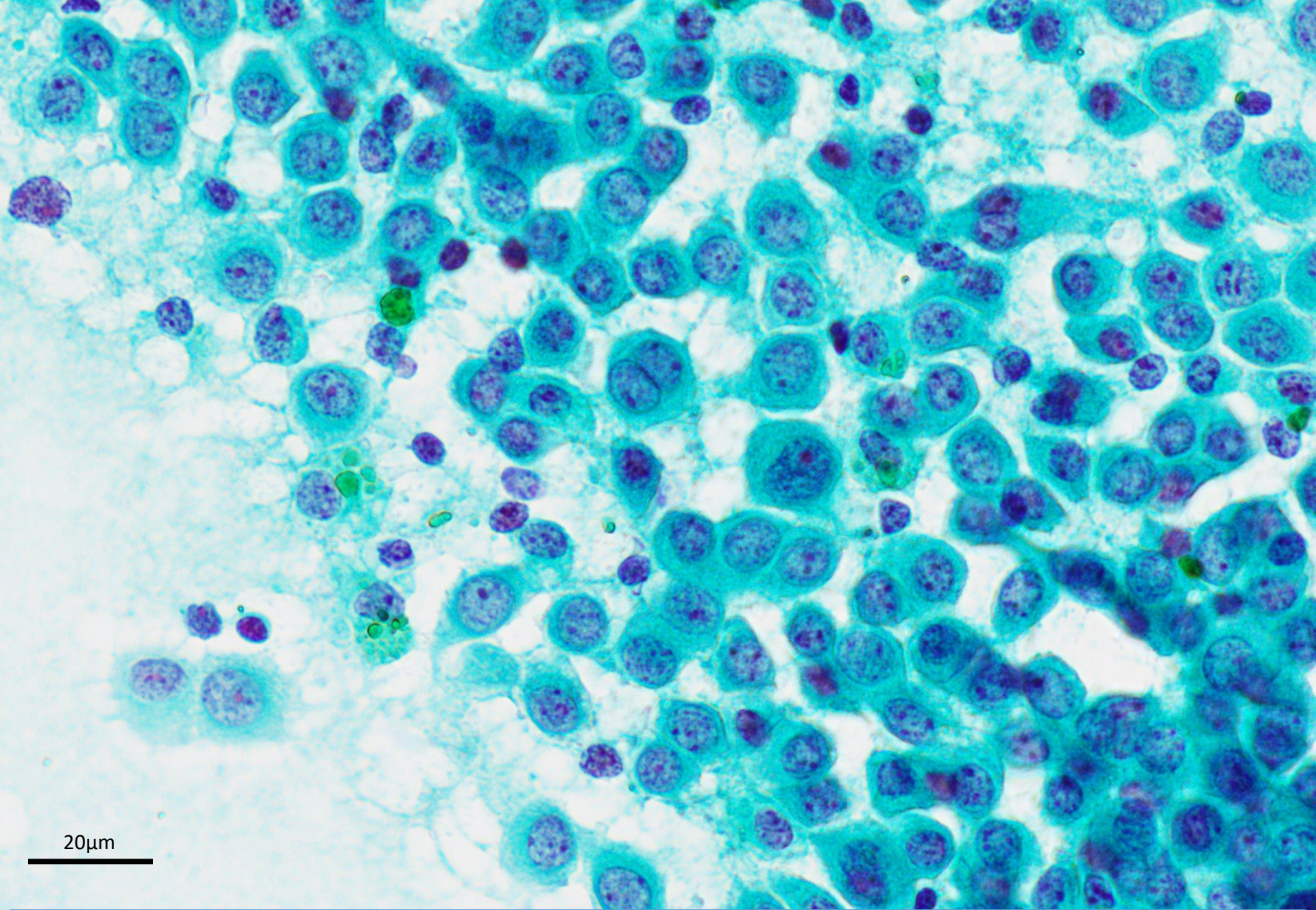
類円形核を有し核クロマチンは粗顆粒状
単個～複数個の核小体を有する



核内細胞質封入体

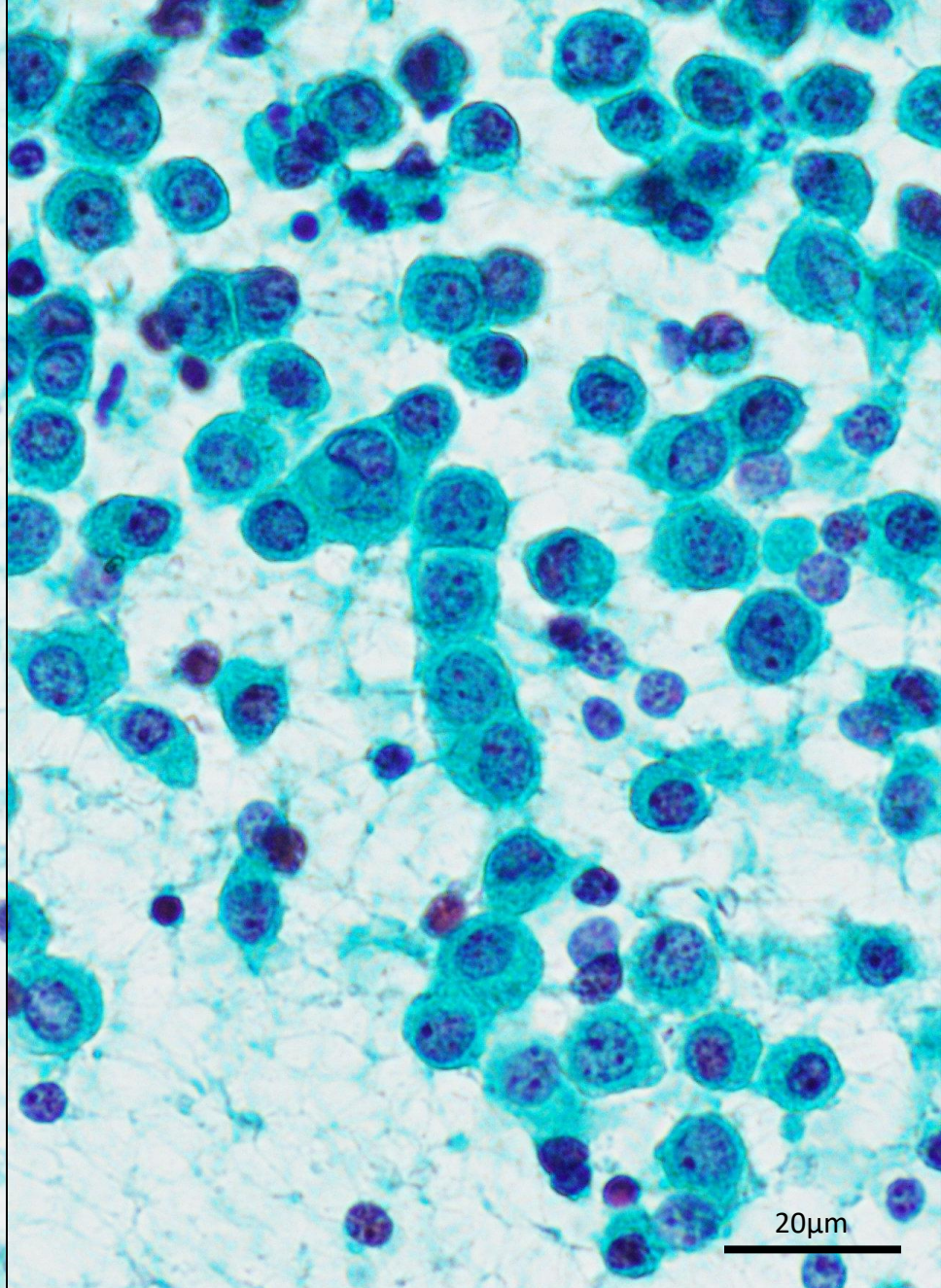
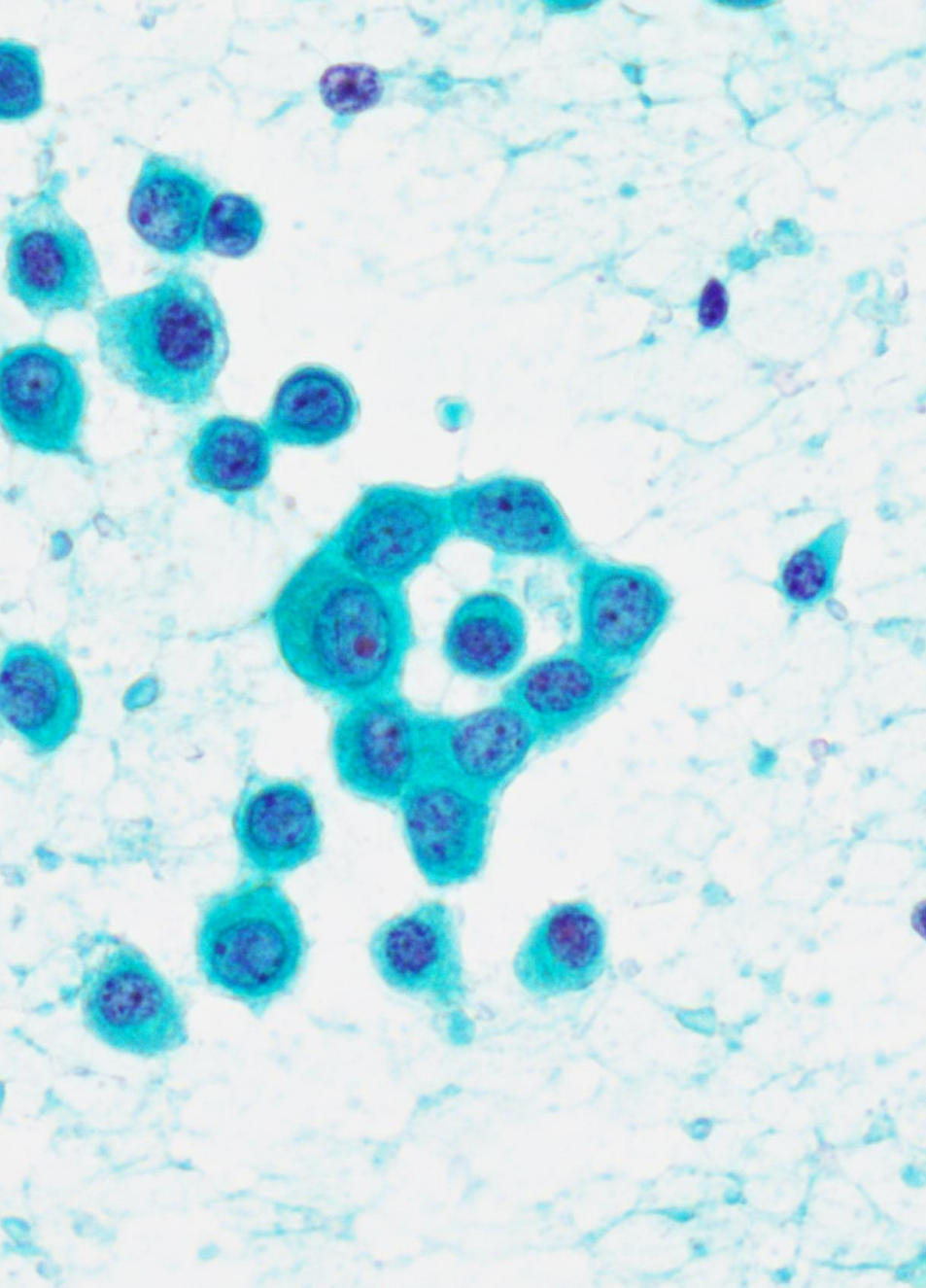
相互封入像

20μm



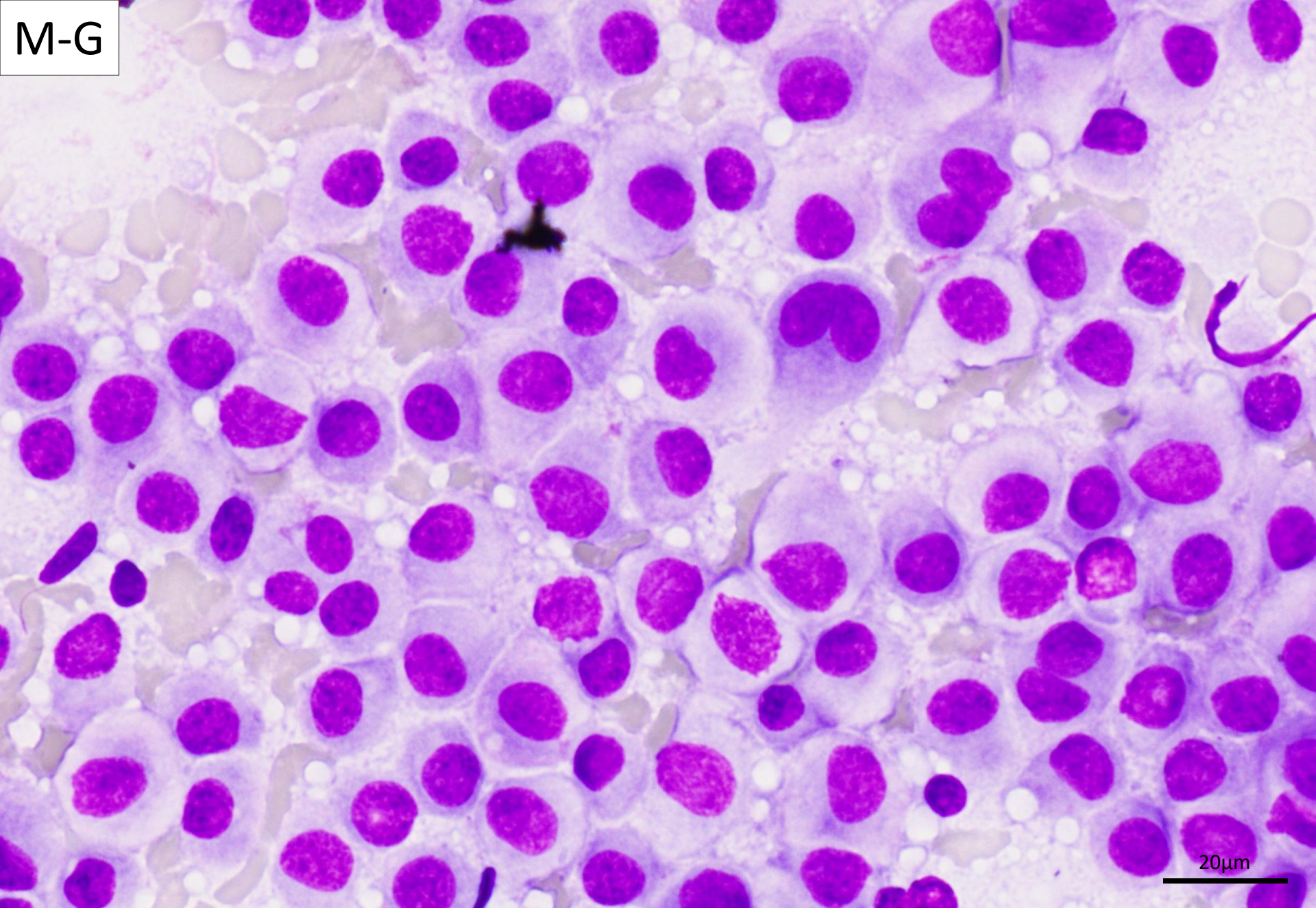
20 μ m

緑褐色の顆粒



上皮結合を示す集塊（リボン状・索状）

M-G



20μm

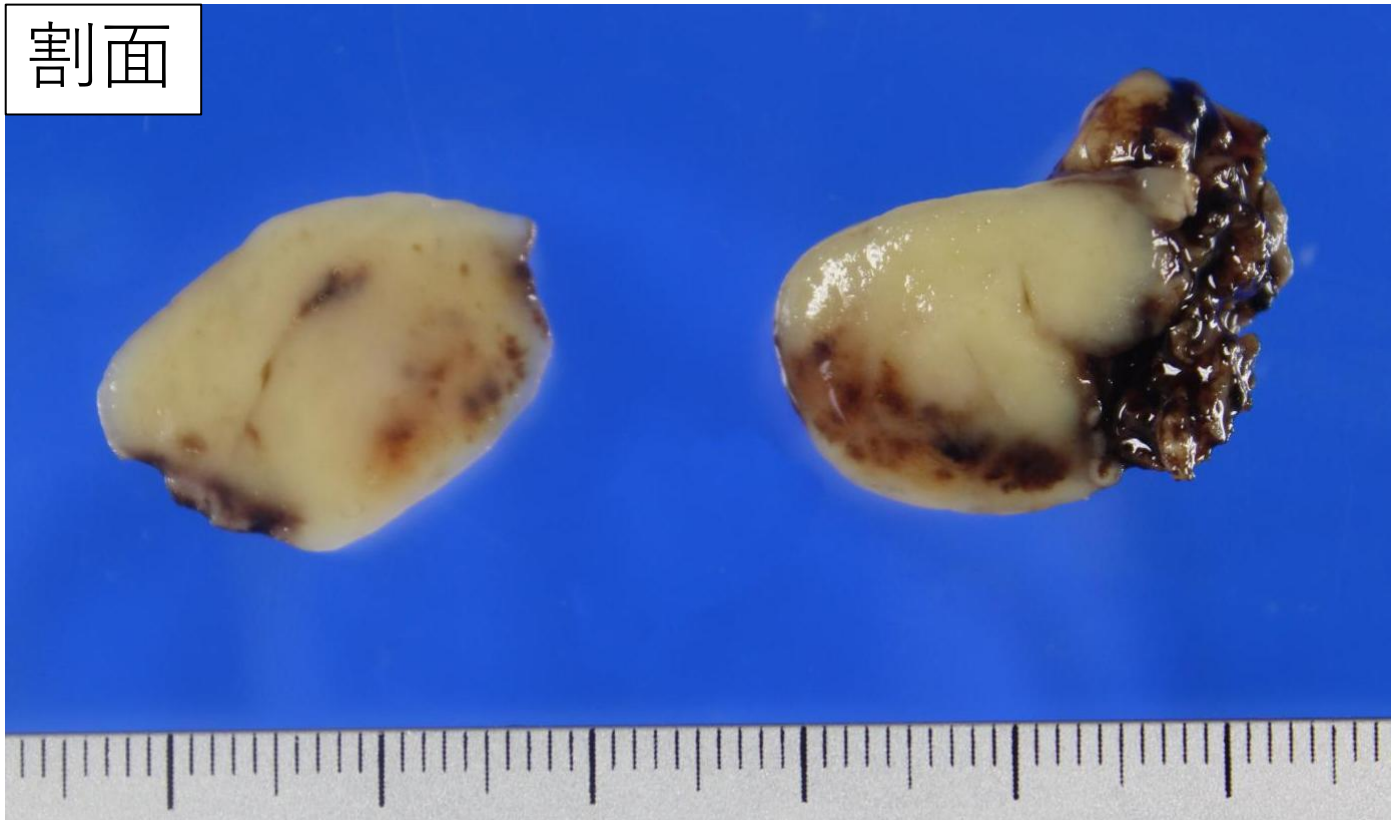
細胞境界不明瞭、核は粗顆粒状

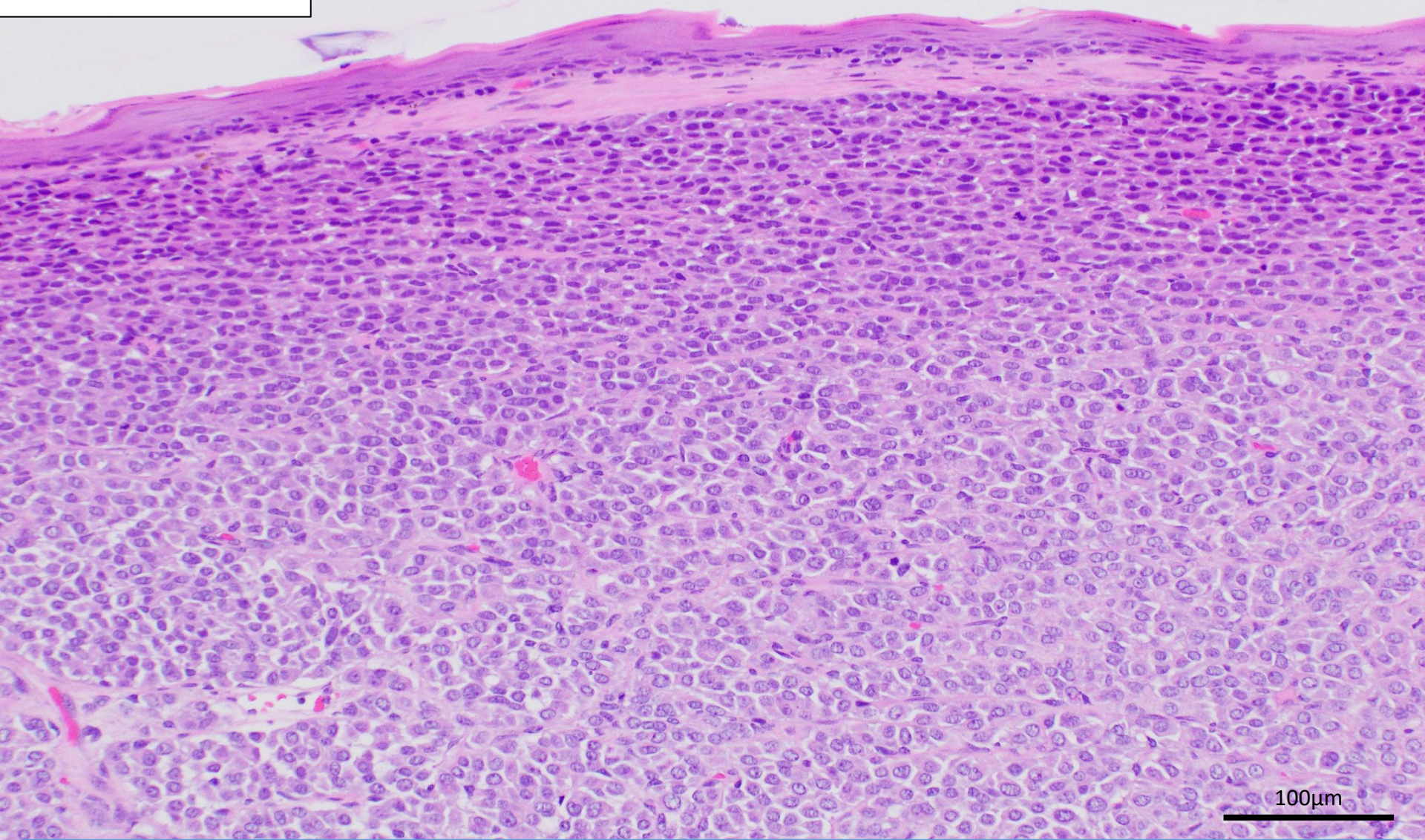
細胞所見

- 背景には多数の小型リンパ球
- 異型細胞が孤在性に多数みられる
- 緩い結合性を有する
- 相互封入像が目立つ
- 核内細胞質封入体を少数認める
- 核は類円形で核クロマチンは粗顆粒状
- 小型の核小体を有する

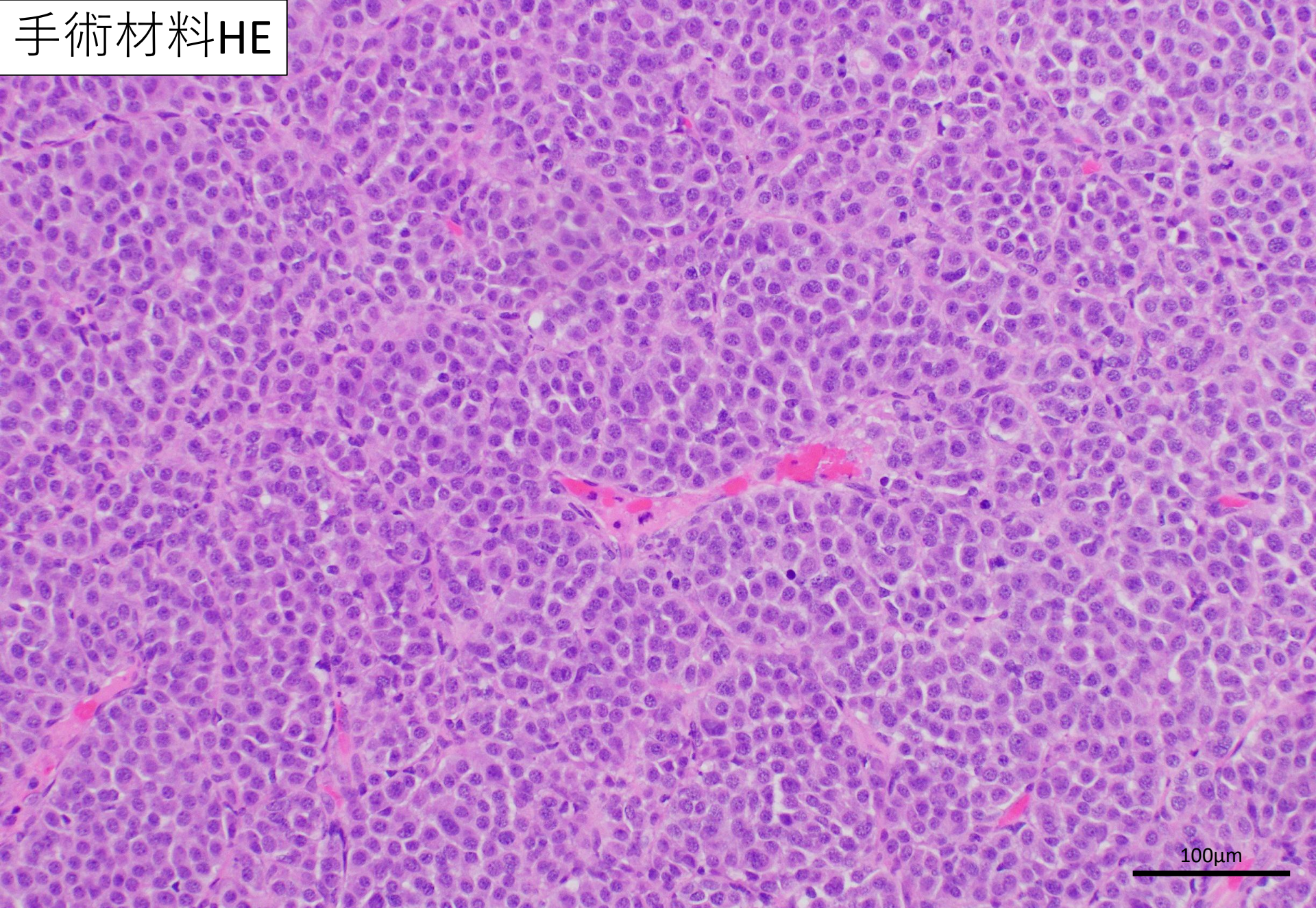
披裂喉頭蓋ヒダ腫瘍

20 × 25 × 12mm



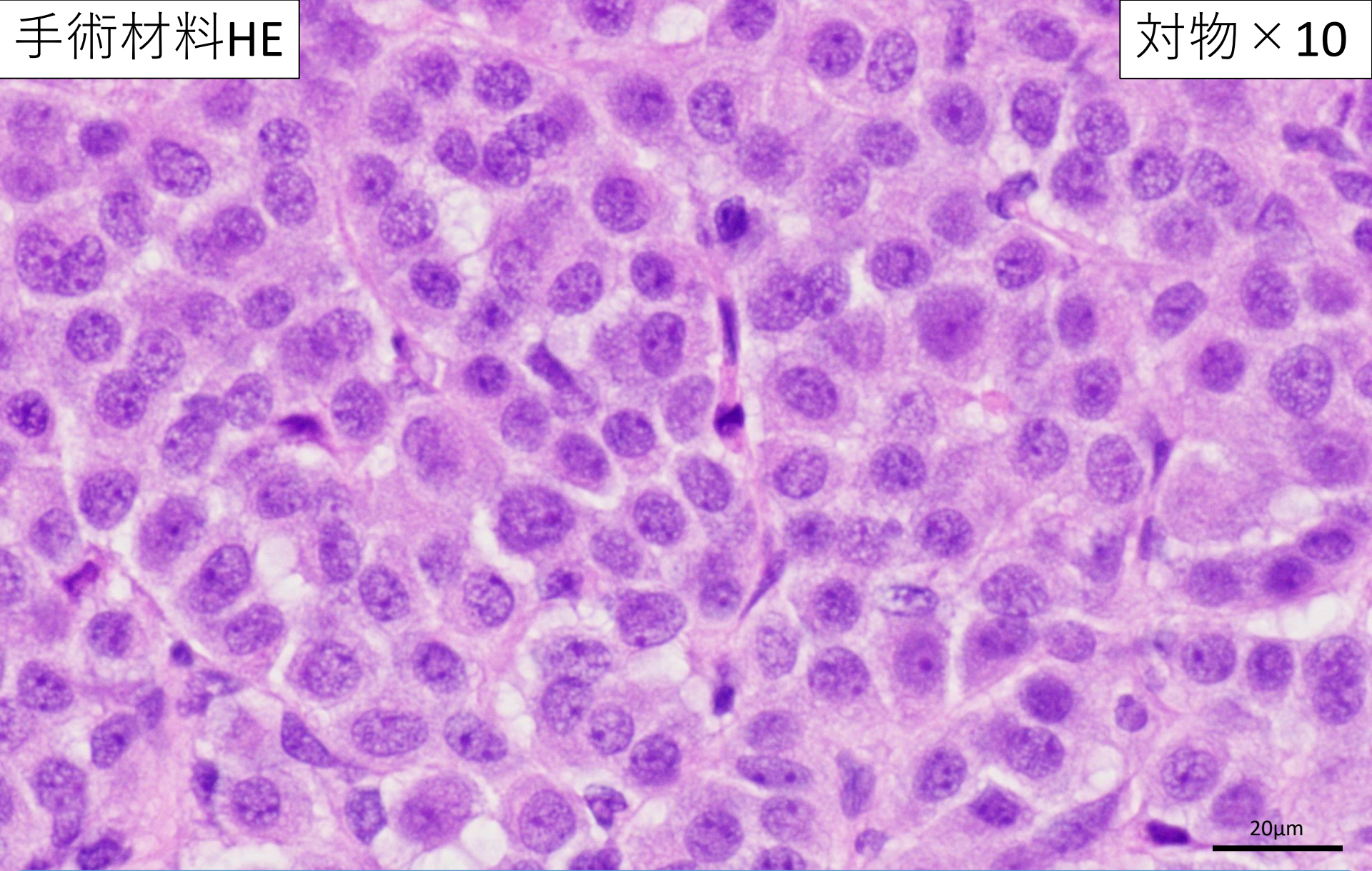


重層扁平上皮に覆われ上皮下間質内に中等度のN/C比を有する異型細胞が比較的単調に増殖

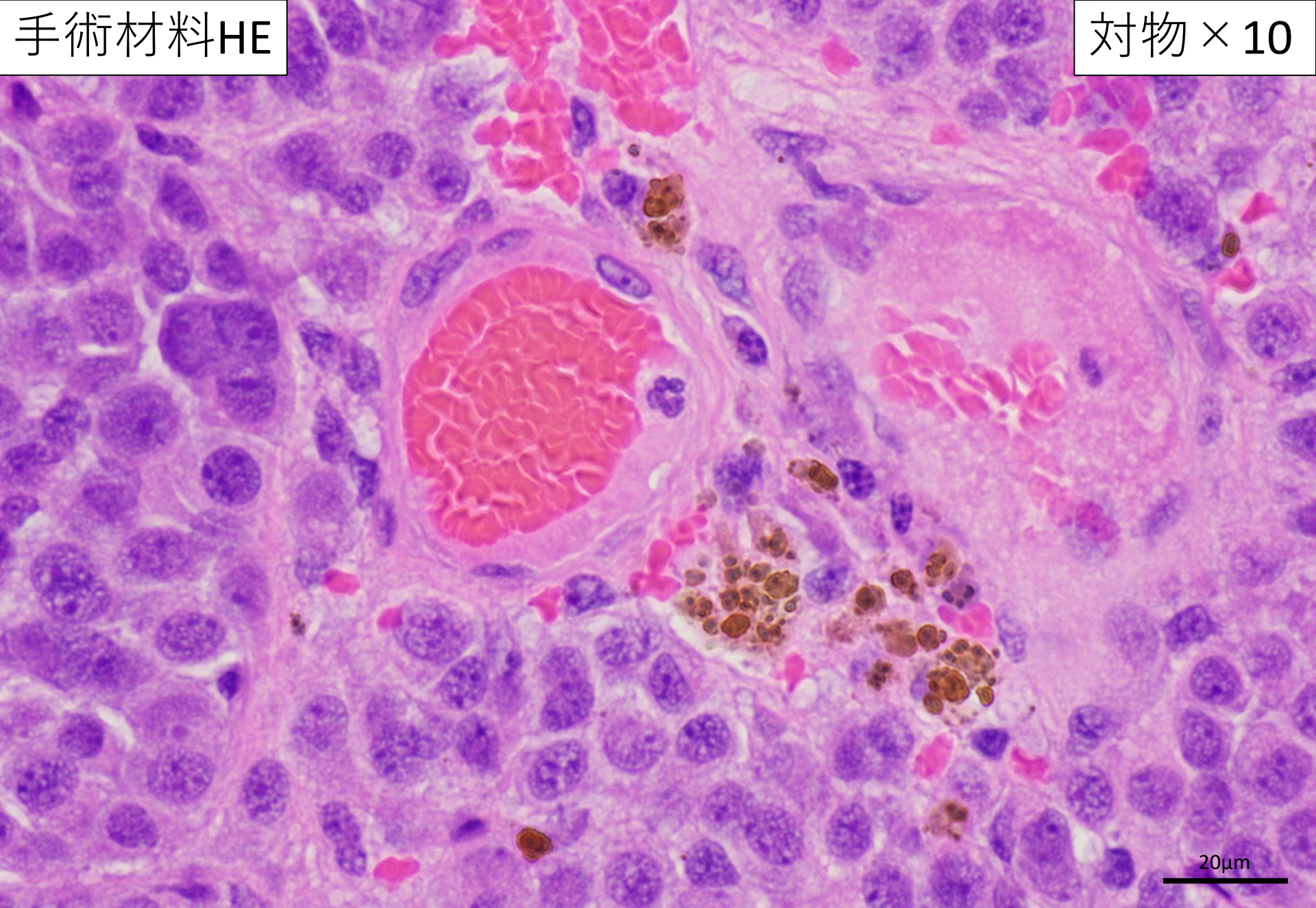


100μm

血管性間質の介在した不明瞭な胞巣状に増殖



類円形で核不整、大小不同を示す核が淡好酸性の細胞質内にやや偏在。緩い結合性を有している

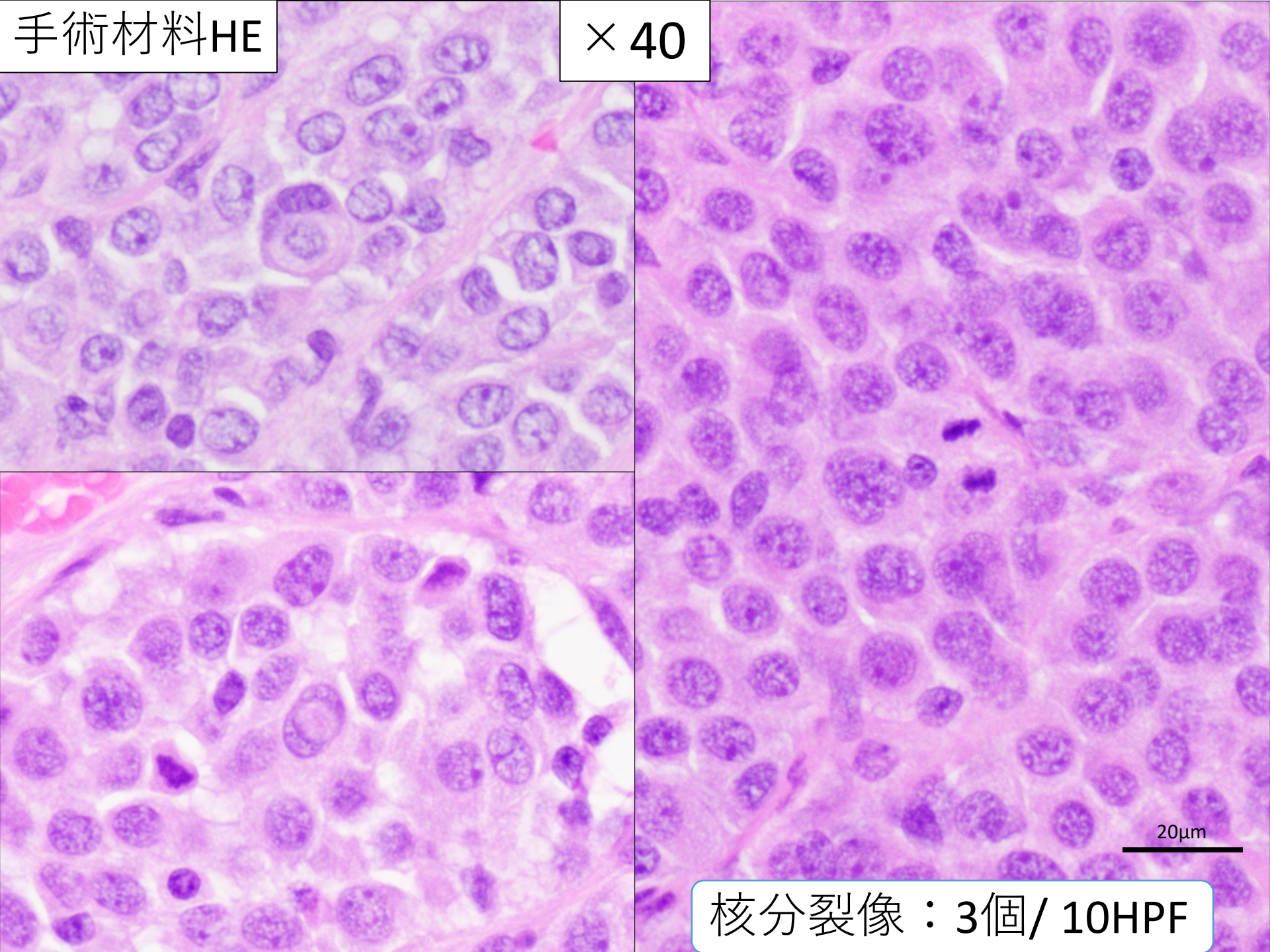


20μm

血管の周囲にヘモジデリン顆粒

手術材料HE

× 40



20μm

核分裂像：3個/ 10HPF

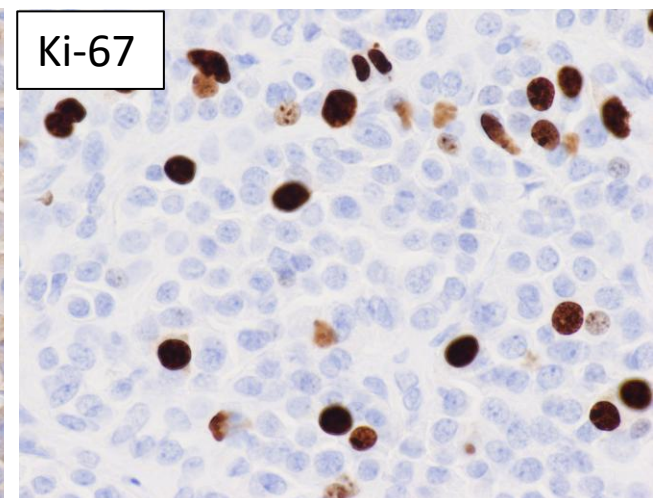
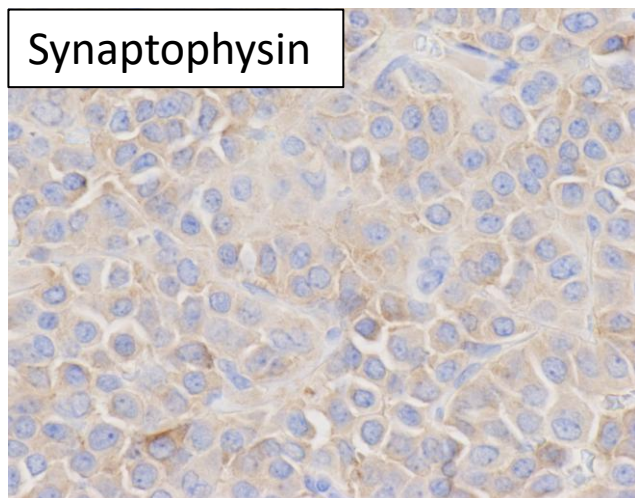
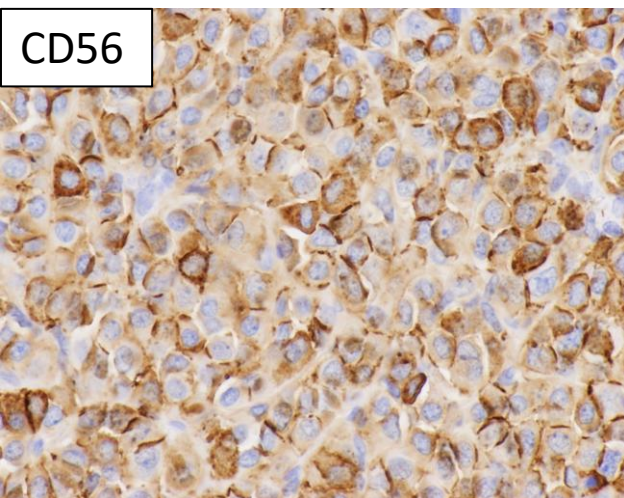
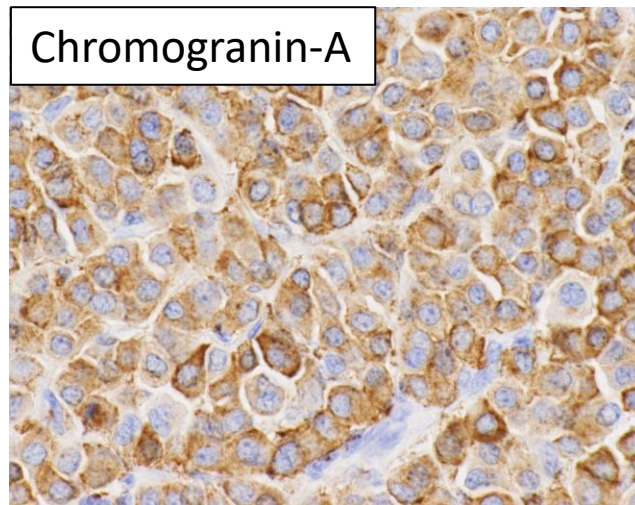
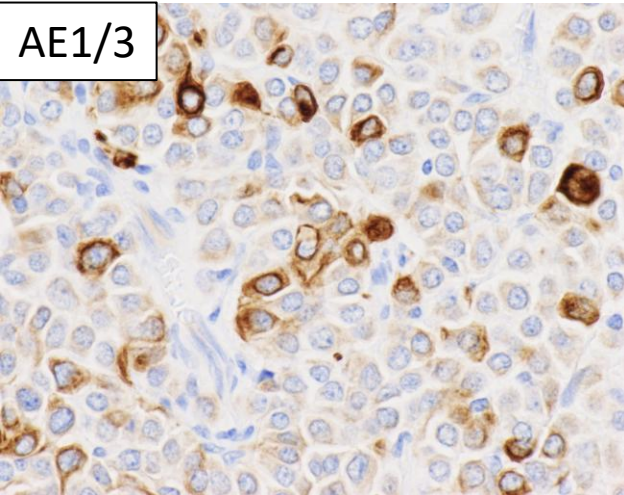
組織所見

- 重層扁平上皮に覆われ上皮下間質内に中等度の核胞体比を有する異型細胞が比較的単調に増殖
- 類円形で核不整、大小不同を示す核が淡好酸性の細胞質内にやや偏在している
- 腺管形成や角化形成はみられない
- 緩い結合性を有している
- 核分裂像は**3個/10HPF**

免疫染色の結果

- 陽性：AE1/3,CK7,chromogranin,CD56,Somatostatin
- 一部陽性：Synaptophysin,TTF-1,c-kit
- 陰性：
CK20,p40,vimentin,CD3,CD5,CD20,CD79a,CD138,IgM,
NapsinA,HER2,SOX-10,CK5/6,p63,S-100,SMA,GFAP
- B-cateninは膜に陽性、核に陰性
- Ki-67 index 8%

免疫染色



Ki-67 index : 8%

免疫染色の結果

陽性	一部陽性
AE1/AE3	Synaptophysin
Chromogranin A	陰性
CD56	Vimentin
	S-100

Ki-67 index : 8%

病理組織診断

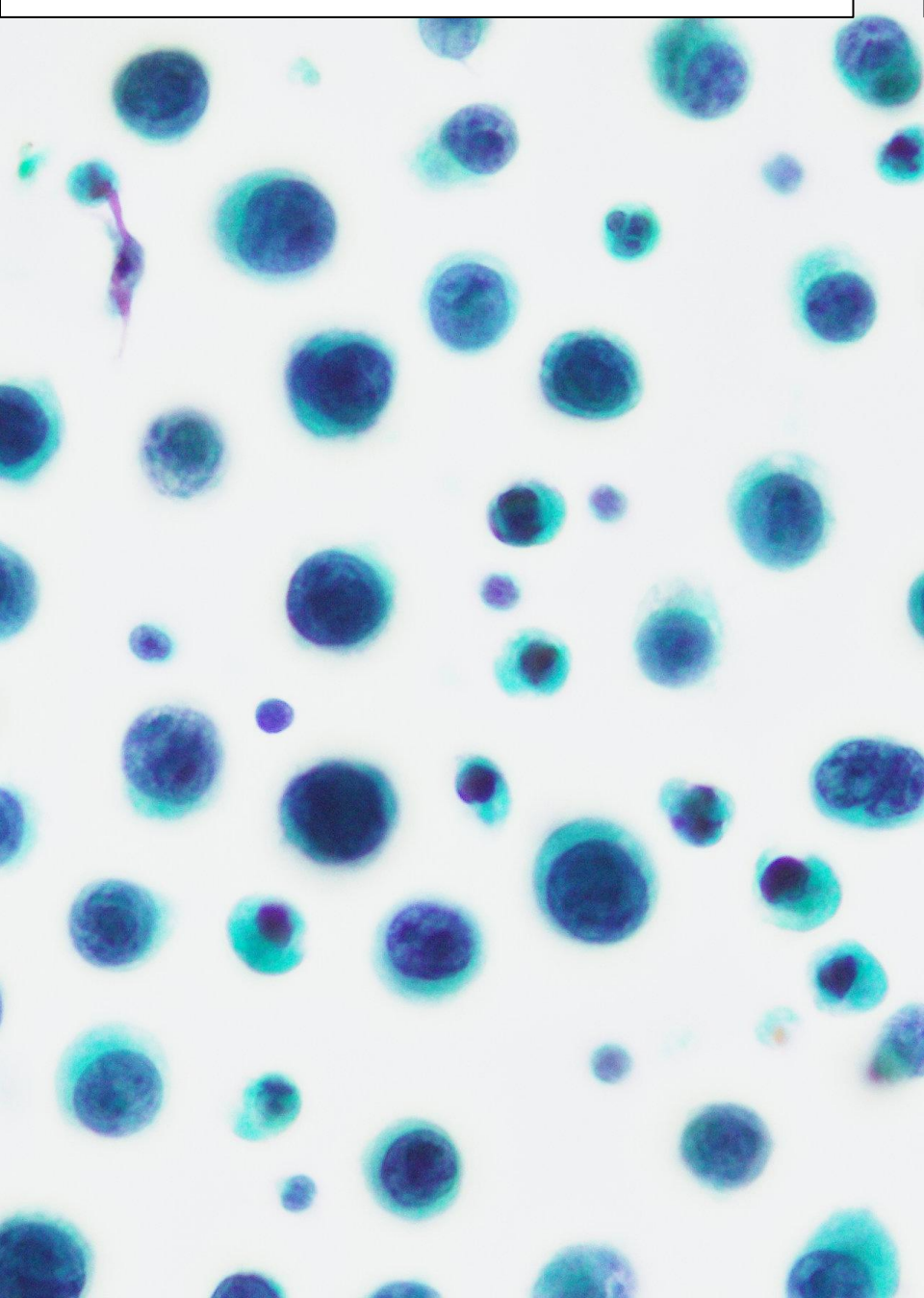
Neuroendocrine tumor(NET), G2

他の選択肢との鑑別

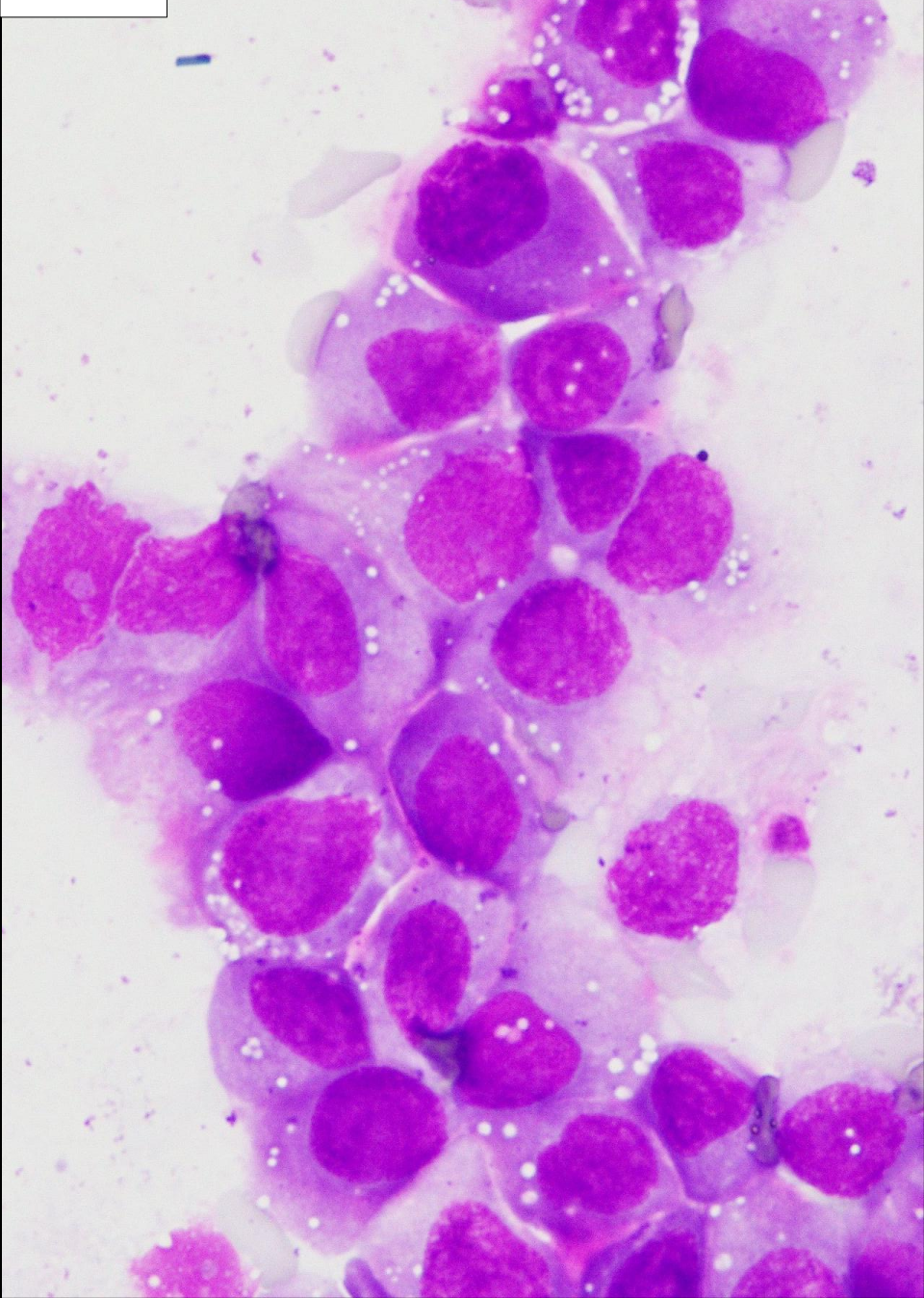
形質細胞腫

- 上皮結合がみられない
 - 比較的細胞質に乏しい
 - 核の偏在傾向が強い
 - 核クロマチンが車軸状
 - ギムザ染色で核周明庭がみられる
-
- 共通点：結合性に乏しい、核偏在傾向

形質細胞腫（リンパ節）



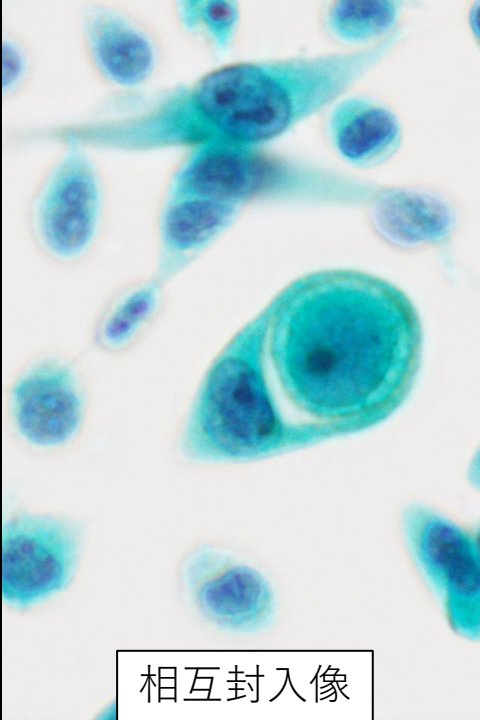
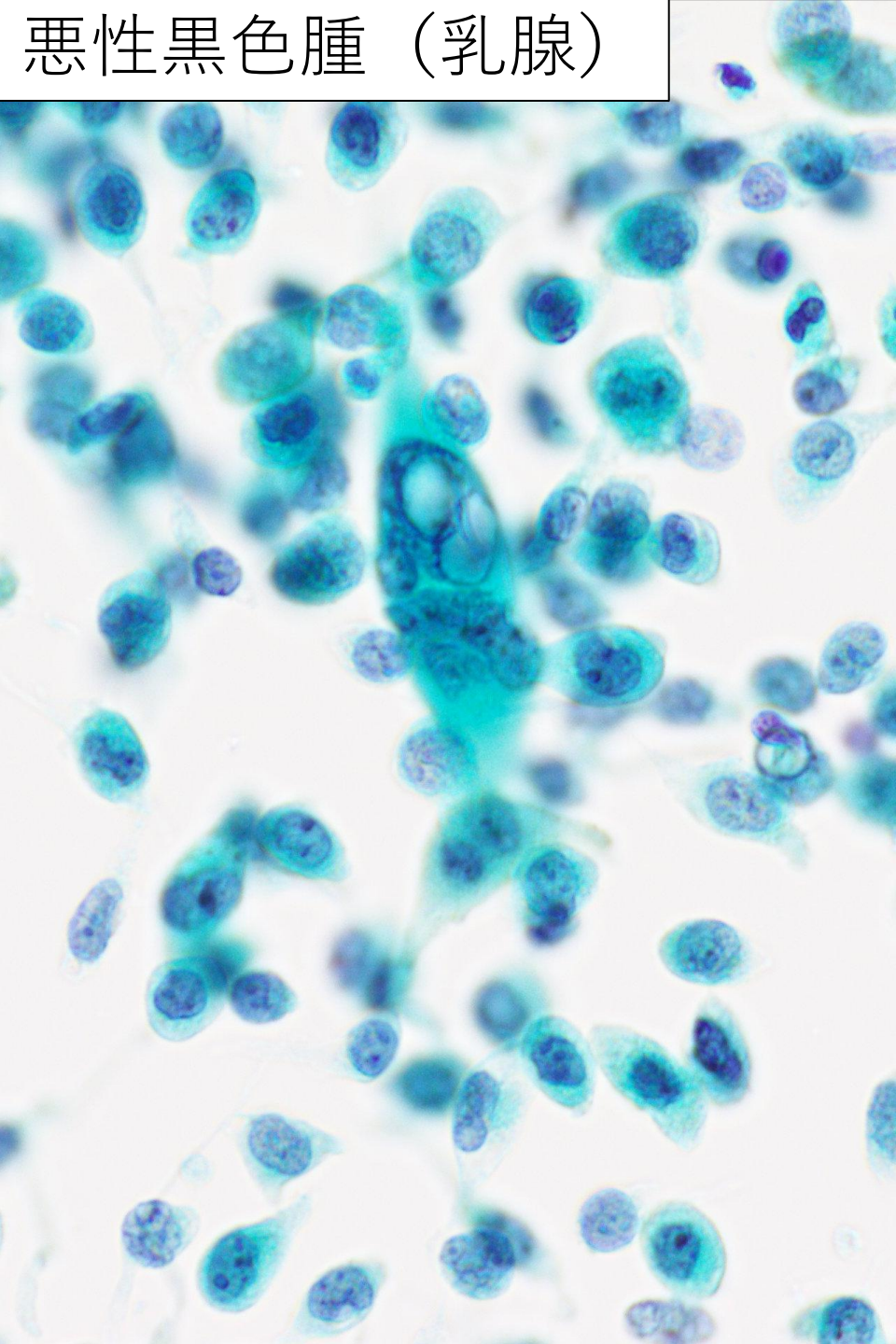
M-G



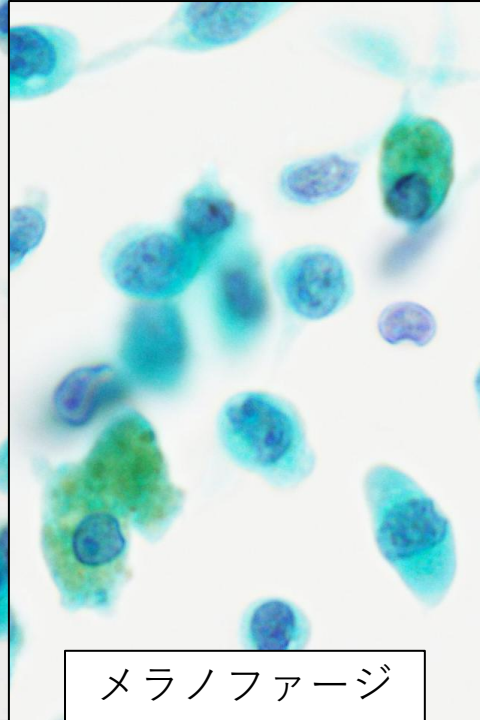
悪性黒色腫

- 多彩な細胞形態を示す
- メラニン顆粒を有する異型細胞を認める
- メラニン貪食マクロファージ（メラノファージ）がみられる
- 典型例では核異型が強く核小体が目立つ
- 共通点：結合性に乏しい、相互封入像や核内細胞質封入体（Apitz小体）を認める

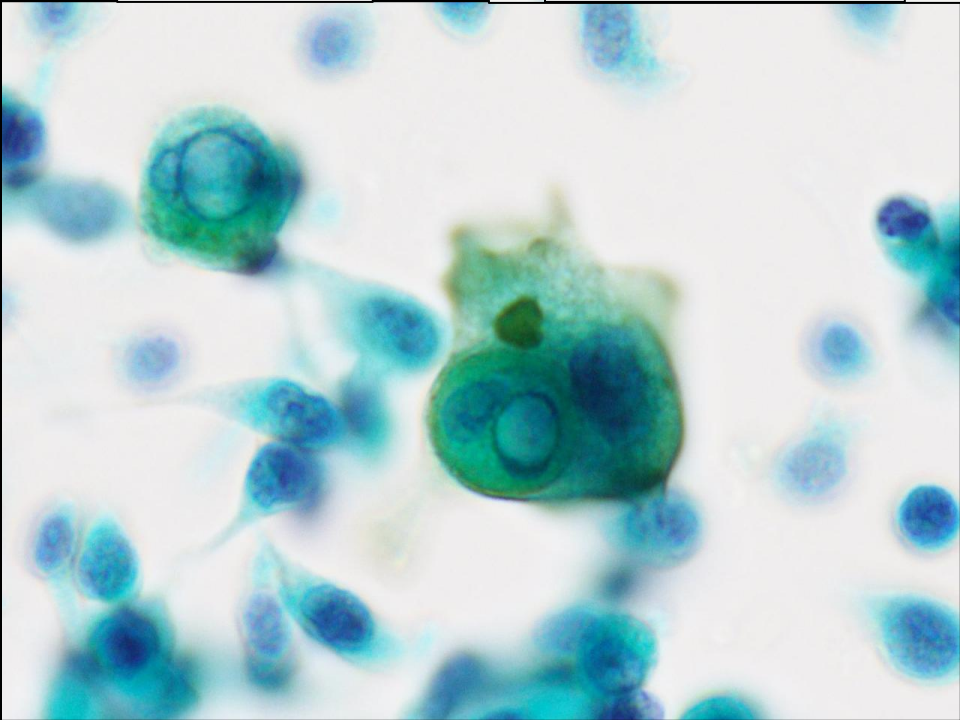
悪性黒色腫（乳腺）



相互封入像



メラノファージ

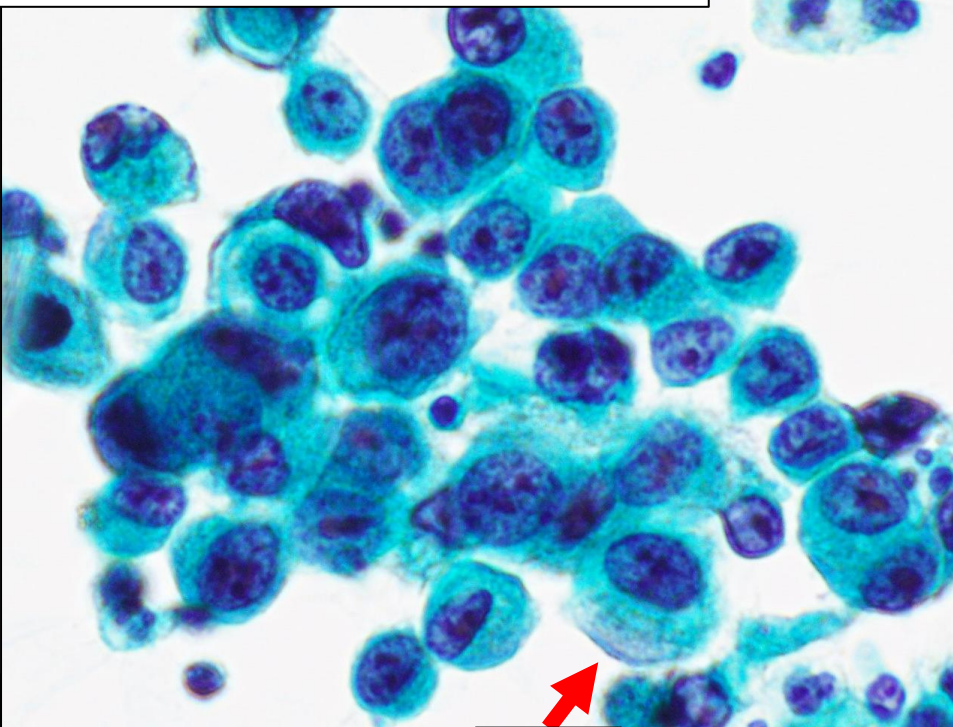


腺癌（低分化）

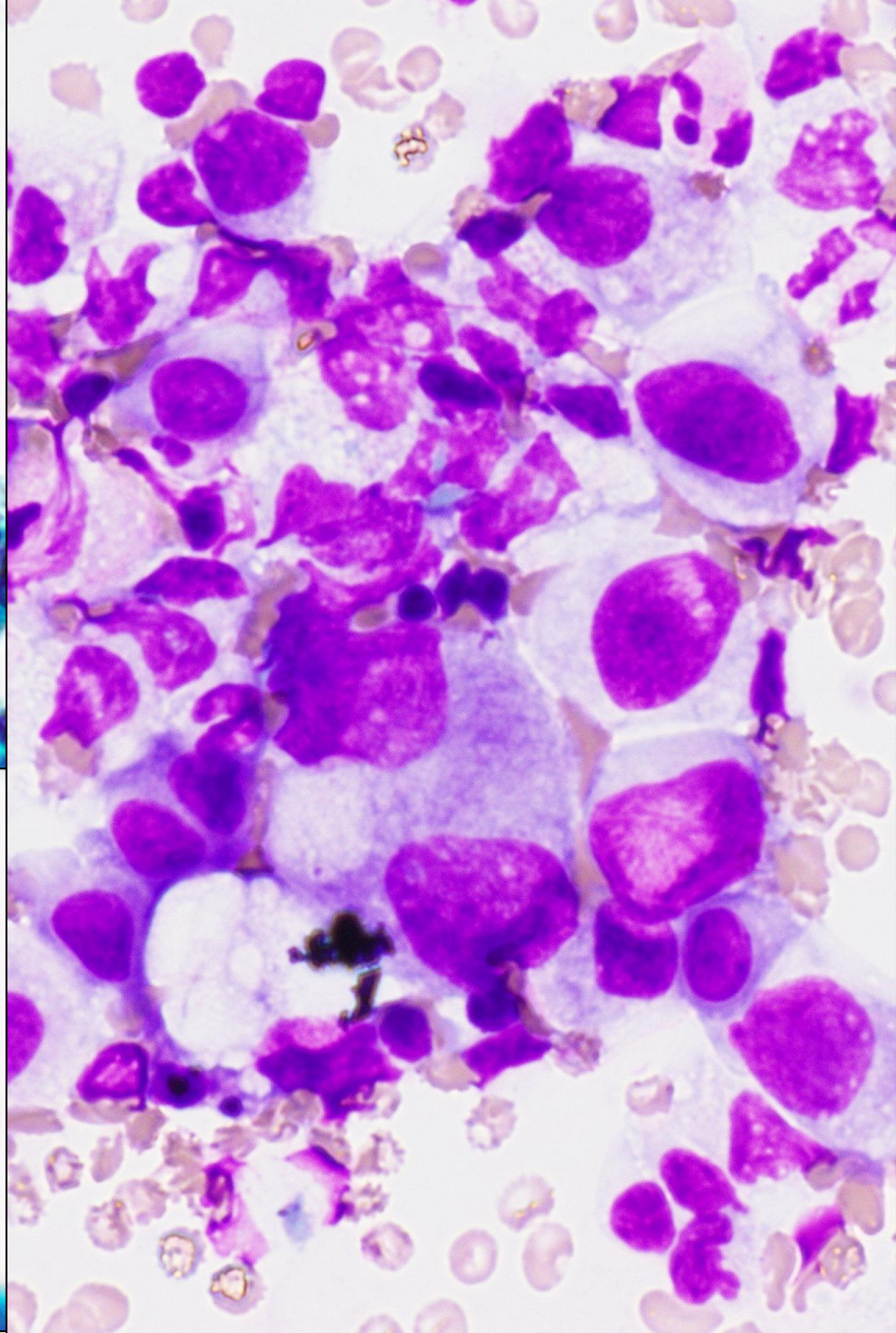
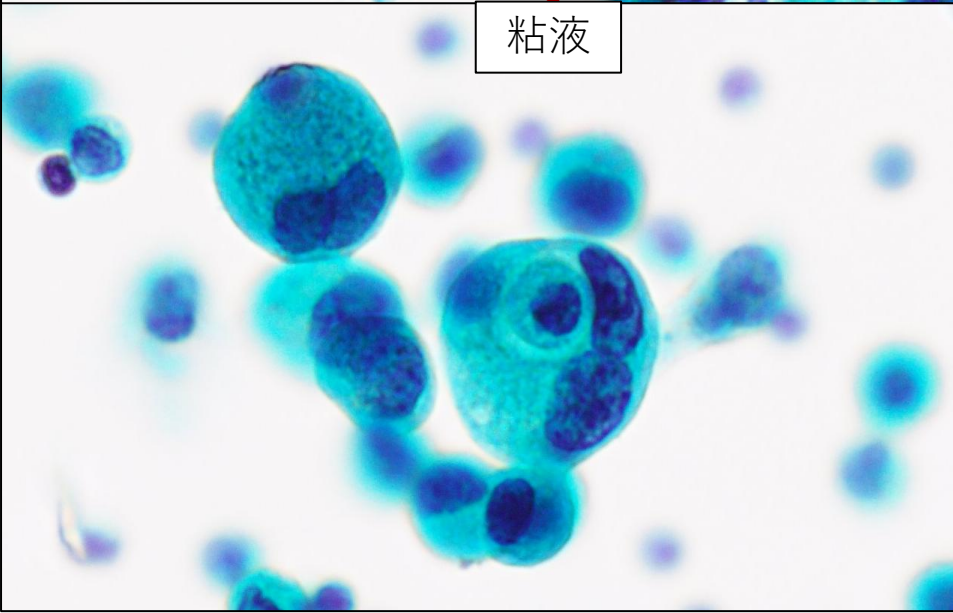
- 細胞質が豊富
- ギムザ染色で細胞質が不均一に染まる
- 細胞質内に粘液がみられることがある

- 共通点：上皮結合、核偏在傾向、時に相互封入像

低分化腺癌（腹水）



粘液



まとめ

- 今回、神経内分泌腫瘍の一例を経験した。
- 相互封入像、核内細胞質封入体などの所見は神経内分泌腫瘍でもみられることがある。
- 単調な細胞がみられる場合は神経内分泌腫瘍の可能性を念頭に置く必要がある。
- 神経内分泌腫瘍を考えるには核クロマチンが重要であると考ええる。
- 特徴的な所見が無い場合は鑑別疾患を広く想定し慎重に観察し、臨床にフィードバックすることが肝要である。